第 15 回 WDAI 定例会

2024 / 4 / 7 (日)　9:30-13:00

ハイブリッド開催（zoom オンライン or ストローマン東京セミナールーム）

【教育講演 1】

演題：インプラント周囲組織マネージメント-最新情報アップデート-

柳井智恵 先生

日本歯科大学附属病院口腔インプラント診療科 教授

WDAI 相談役、

ITI 日本支部 Study Club Coordinator

【教育講演 2】

演題：インプラント治療に携わった私のキャリアパス

本田貴子 先生

MERCIMONDE 合同会社

代表・歯科衛生士

Dental Staff Study Group “FOCUS!” 代表

熊本県歯科衛生士会 診療所部門理事

熊本歯科衛生士専門学院 非常勤講師

ITI 公認歯科衛生士コース 講師

【会員発表】

前田明子先生

歯科衛生士

野澤歯科医院

歯周基本治療により信頼関係を構築した一症例～インプラント治療後転院へ～

福留美由紀先生

歯科技工士

東京医科歯科大学病院

歯科技工部

技工士からみた，チェアタイム短縮を実現するために必要なこと

斎藤理絵子先生

歯科麻酔科医

CDAC

日本歯科麻酔学会　専門医

開業医で活用できる静脈内鎮静法

受講対象

- 女性歯科従事者（歯科医師、歯科衛生士、歯科助手、歯科技工士）

受講料

- WDAI 会員　：無料
- 会員以外　：無料（WDAI 会員にスポット登録いただくことで無料でご参加いただけます）

お申込み先

- ２次元コードよりお申込み願います。「東京会場参加」か「オンライン参加」をご選択願います。
- 「東京会場参加」は、定員(40 名)になり次第、締切とさせていただきます。

会場

- ストローマン・ジャパン株式会社 東京セミナールーム
  東京都港区芝５－３６－７　三田ベルジュビル６階

お問合せ先

- WDAI 事務局 |mail：info@wdai.jp ｜9：30～17：30（平日）メールでのご返信となります。

プログラム

09:30　開催の挨拶
　　会長挨拶　　（WDAI 会長　立川敬子先生）
09:35　会員発表 1　（前田明子先生）
09:55　会員発表 2　（福留美由紀先生）
10:15　会員発表 3　（斎藤理絵子先生）
10:35　休憩
10:45　教育講演 1　（柳井智恵教授）
11:45　休憩
11:55　教育講演 2　（本田貴子先生）
12:55　終演の挨拶
13:00　定例会終了
13:00～13:15　WDAI 総会

※終了時間や内容が変更となる場合もございます。

ご講演要旨

柳井智恵 先生（日本歯科大学附属病院口腔インプラント診療科教授）

「インプラント周囲組織マネージメント － 最新情報アップデート －」

- 昨年 5 月、リスボンで開催された第 7 回の ITI Consensus Conference にてインプラント周囲組織マネージメントに焦点を当てた質問として、1．治癒した顎堤において、予後に問題が生じないためには、インプラントの周囲に必要な頬側骨の厚みはどの程度か？
  2．その必要な頬側骨の厚みを有さないケースにおいて、インプラントの植立と同時に骨補填を行うと結果は良くなるのか？という非常に興味深い内容が発表されました。本講演では、今回のコンセンサスの内容について概説します。また ITI の近代的かつ効率的なネットワークを通じた専門知識とノウハウの情報交換ツールや、国内外における ITI の活動などについても、最新情報をご紹介したいと思います。

本田貴子 先生　MERCIMONDE 合同会社　代表・歯科衛生士

「インプラント治療に携わった私のキャリアパス」

- インプラント治療が患者と医療従事者に与える影響を考えると、それぞれの人生を変えるものだと言っても過言ではないと思います。今回、ブローネマルク教授が存命中に仰っていた「For the patient」を歯科衛生士の立場から叶えるために行った様々なこと、また当時の勤務先の院長から提示していただいたキャリアを積む道、それら全てが今の私を作り、未来に繋がっていることについて、皆様のキャリアのヒントになるお話をしたいと思います。

前田明子 先生　歯科衛生士　野澤歯科医院歯

歯周基本治療により信頼関係を構築した一症例～インプラント治療後転院へ～

- 歯周基本治療・インプラント治療後に担当歯科衛生士が退職した場合、一般的には後任歯科衛生士に引き継がれます。今回転職先の医院に転院して治療継続してくださると言う症例を経験したのでご報告申し上げます。

福留美由紀 先生　歯科技工士　東京医科歯科大学病院　歯科技工部

技工士からみた，チェアタイム短縮を実現するために必要なこと

- “チェアタイム短縮のために口腔内で無調整の補綴物を作る”というコンセプトで 23 年間歯科技工と向き合ってきました。しかし”無調整”が成功するケースは数少ない。この原因と対策をこれまで 200 人以上の歯科医師と直接やり取りしてきた臨床経験から考えていきたいと思います。

斎藤理絵子 先生　歯科麻酔科医 CDAC 日本歯科麻酔学会　専門医

開業医で活用できる静脈内鎮静法

- 「インプラント治療をしたいけど手術が怖い」患者さんからそんな相談を受けたことはないでしょうか。歯科治療に対して強い恐怖を抱いている人の割合は、5～20%と報告されています。歯科治療に恐怖心のある患者さんに、歯科麻酔科医とのチーム医療で静脈内鎮静法を活用し、安心して治療を受けていただける方法をお伝えします。